



田島弘庸 (たしま ひろつね)

1969 (昭和 44) 年～ 広島県生まれ

1993 (平成 5) 大阪芸術大学芸術学部工芸学科卒業、陶芸の森にスタジオ・アーティストとして滞在

1995 (平成 7) ニューヨーク州立アルフレッド大学大学院修了-ロータリー財団給費留学

1997 (平成 9) 「キリン・コンテンポラリー・アワード」(東京/アートペース原宿)《優秀賞》

2000 (平成 12) 「ポリティカルアート展」(アメリカ・ペンシルバニア/クレイスタジオ)

2001 (平成 13) 「岡本太郎記念現代芸術大賞展」(神奈川/川崎市岡本太郎美術館)

2006 (平成 18) 「シーズ・ザ・クレイ:アリゾナ陶芸家展」(アメリカ・アリゾナ/ウエストバレー美術館)

田島はアメリカを舞台に活動している陶芸家で、現代社会をテーマにメッセージ性の強い陶の造形作品を制作している。そのなかにはセルフポートレイトのように、彼自身が登場するものが多い。本作でもマッチ箱の柄が入った狸の衣を纏った人物として、自身を作品にすり込んでいる。両手には龍の模様が入った染付(印判手)のカップと、クッキーを載せたソーサーを持っている。長い海外生活を通して田島が主客両面で感じた、現代日本と彼自身が表現されている。

喫茶するたぬき

Tanuki in drinking tea

2007 年 (平成 19) 制作

